～宮大生のための海外渡航～

台湾夏季中華語・台湾文化研修報告

教育学研究科学校支援教育専攻日本語教育支援専修　１年　真栄田義正

〇派遣：開南大学

〇派遣期間：　2014 年　8　月 18　日　～　　年　9　月　1　日

〇渡航時の学年：　１　年次

〇渡日前の手続について

・参加に至った経緯について：

今期から中国語を履修しており、実際に中国語を現地で学びたいと思ったことが動機となり、距離的にも最も近くて日本との関わりが強い国の一つである台湾には一度も行ったことがなかったので、文化体験なども含めて、多くのことを経験してみたいと考え台湾での研修に参加しました。

・渡航に関する手続について：

中国語運用能力に関する事項に答えるアンケートや寮で使う寝具などのアンケートだけで、実際に申し込みの手続きは行っていません。出発前に AIU の保険に入ったぐらいです。

・査証取得：

なし

★体験記：

旅券は、沖縄から台湾に行ったので、往復で 4 万4000円でした。宮崎からだと月・水・土に 1 便しか飛んでいなく、時間帯的にも不便だったので沖縄からいきました。沖縄からだと1日2便ずつ出ており、費用も安く抑えることができました。

寮費などは免除だったので、向こうでの食費や交通費などを主に生活費としてあてていました。1食約60～100元前後で食べることができるので、節約しようと思えばもう少しできます。昼食など支給されることもあったので、主に晩御飯のみ自分で払うことが多かったです。またスーパーなどで少し買い込んで小腹がすいたら食べられるようなクラッカーやラーメンなどを買っていました。大学付近にはコンビニなどがたくさんあるのでそこをよく活用していました。

寮の環境は、4人1部屋で、寮内や学内に Wi-Fi が通っているので連絡などはそこまで不便ではなかったです。トイレやシャワー、洗濯場などは共用だったのですが、そこまで汚すぎることはなかったです。ただ、寮には 12 時までに帰らないといけない門限があったのと、午前12時から6時までは玄関が開かないことになっていたのでそこは注意しないといけないかなと思います。

大学の環境は、敷地もそこまで小さいわけではなかったので、快適に過ごすことができました。屋外にバスケットコートなどもあるので運動することも可能です。

授業内容は、英語での中国語の授業だったので、私にとっては非常にわかりやすく、より楽しんで取り組むことができました。ただ、比較的大人数での授業なので、個人的に質問したりすることが時と場合によっては難しいこともありました。それでも授業には必ず開南大学の生徒がアシスタントとして入ってくれたので、わからないことがあればすぐ聞くことができ、また授業もアクティビティーが豊富に含まれていたのでよかったと思います。

学生は、夏季休暇中だったので現地の学生は、ほとんど見かけませんでした。アシスタントの

学生たちは非常に優しくて、授業内外で非常に助けてもらいました。

生活環境は、日本とは違い台湾は交通面が良くないので気を付けないといけないことが多いと思います。原付バイクが非常に多いのと車の運転も荒いので、歩道という歩道がないように感じます。また横断歩道が記されていなかったりもするので、車の信号に合わせて突き進む勇気は大事です。あと、車とバイクは避けてくれるのですが、歩く側も避けないといけないのでメンタルが強くなると思います。大学近辺に外食できる場所は多々あるのですが、少し離れたところにたくさんレストランなどがあるのでそこまで行くのが大変だった気がします。市内まで行けば大丈夫ですが、バスなど時間通りにくることも少ないし、どこで降りればいいのかと最初は戸惑うことが多いと思いますが、そこは注意するところです。また、バスによっては支払う金額は違うので、そこは気を付ける必要があります。

〇生活費:
渡航費は4万4000円　寮費は無料　食費は滞在期間中に1万円ちょっとで済んだと思います。ただし、ビールなどを含めるともう少しかかったかもしれませんが、それでもそこまでかかってはいません。

〇大学のサポート状況:
大学のスタッフの方たちは日本語を話すことができたので意思の疎通などで不便に感じることはありませんでした。みなさん非常に流暢ですので気軽にコミュニケーションを取ることができます。

〇授業の様子:
前述したとおり、初級の授業だったので、大人数で英語による中国語の授業でした。
だいたい4～5人の6グループに分かれて、グループごとにアシスタントの学生がついてくれました。

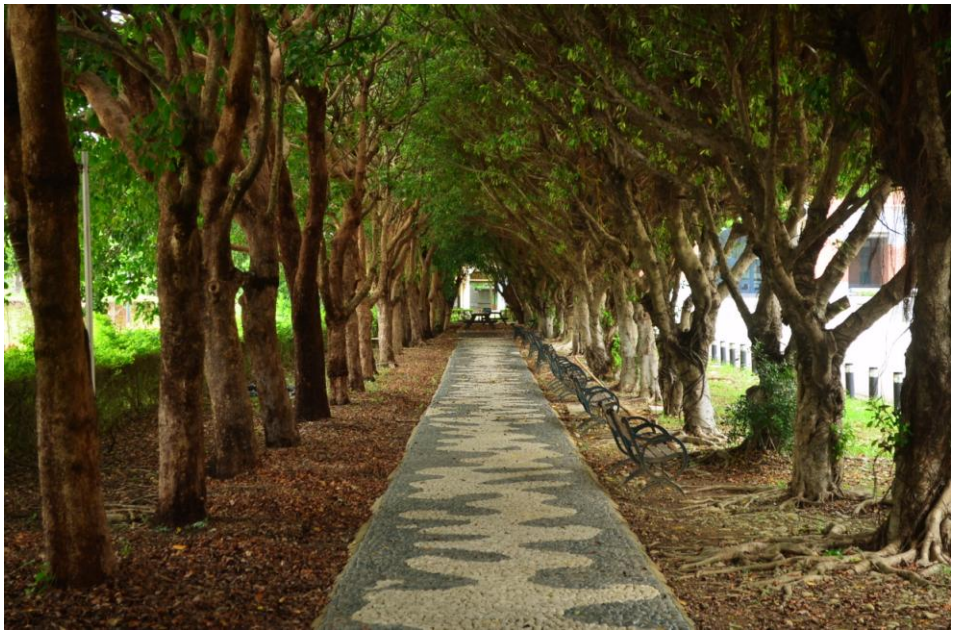
〇他の留学生たちの様子:
日本人のみでした。

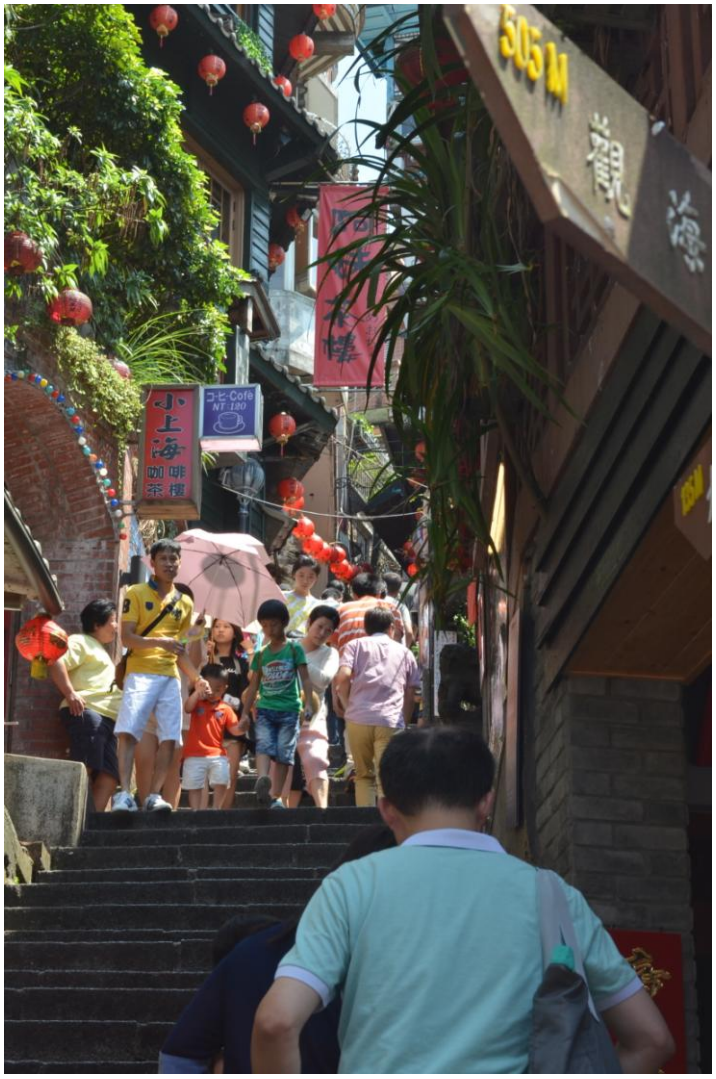
〇現地学生との交流:
アシスタントの学生のみとの交流でしたが、中には違う大学の人たちとも接する機会があり、英語によるコミュニケーションを取りました。ただ、英語が話せる人はそんなに多くはないかなと思います。

〇街の様子:
市内まで行けば、電車やバスなどで台北まではいけますが、桃園市内でも十分にショッピングなどはできます。タクシーも何人かで乗り合わせれば安く抑えられるので、1人50元から70元前後、日本円ではだいたい150円から200円ちょっとで早く的確に移動することができます。

〇その他:
運転がかなり荒いので、日本での常識は通用しないかなと思います。タクシーとかは高速道路でもないのに普通に120kmとか出すので、アトラクション感覚で乗れる人は挑戦してみもいいかなと思いますが、くれぐれも歩く際や乗車する際の事故にはお気をつけてください。

〇今後、海外渡航を希望する宮大生のみなさんへ
やはり、ある程度の中国語での会話はできる必要があると感じました。特に、お店で注文する際、英語が通じないことのほうが圧倒的に多かったので、そこは気を付けたほうが良いです。意外とすぐ覚えることができるので、注文や買い物の際には恥ずかしがらずに積極的に中国語で会話することが大事です。




小上海
咖啡
茶
コヒ Cofe
NT 120
505 AM

～宮大生のための海外渡航～

～宮大生のための海外渡航～